

ワンポイント アドバイス

エダマメは、
収穫のタイミングが重要！

やや若めの状態で収穫するのがコツです。収穫時期が遅れると実が硬くなってしまい、食味が落ちてしまいます。また、鮮度落ちが激しいので、収穫したら早めに食べましょう。

たっぷり水やりを！

エダマメの根は、地表面に近い場所に張っているため、水切れには過敏に反応します。開花、結実、実の肥大には十分な水が必要です。花を咲かせる時に水切れを起こすと、実が肥大しないので、しっかりと水やりを行いましょう。

害虫にご注意！！

高温期には、カメムシ類が発生します。さやにつくと落下してしまうので、適宜防除しましょう。

有効な農薬



スミチオン乳剤 トレボン乳剤

定番肥料はこちら

やさい1号 20kg

速効性肥料と有機質肥料、緩効性肥料を配合したJA東びわこオリジナル商品。基肥に最適です。野菜に不足しがちなホウ素も入っているため、安定生産と品質の向上に役立ちます。

チッソ リンサン カリ ホウ素
12 - 10 - 12 - 0.3

やさい2号 20kg

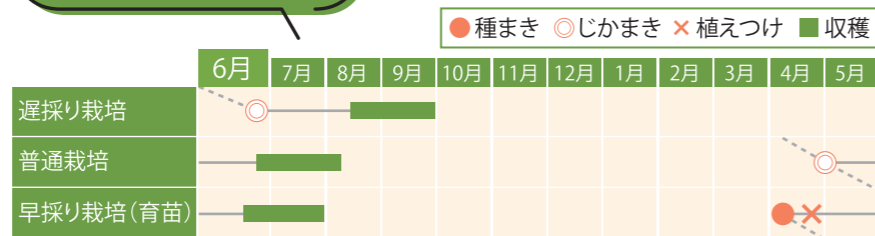
速効性肥料と有機質肥料を含むJA東びわこオリジナル商品。作物を選ばず、基肥・追肥どちらにも使える万能肥料です。

チッソ リンサン カリ
8 - 8 - 8

お買い求め・ご注文は
お近くの営農経済センター
または支店まで！

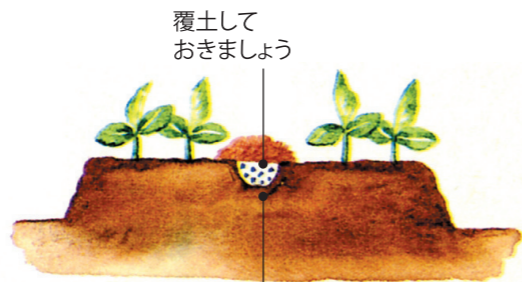
※お取り寄せ商品となります。あらかじめご了承ください。
※時期などの都合により、取り扱いを休止・中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

栽培カレンダー



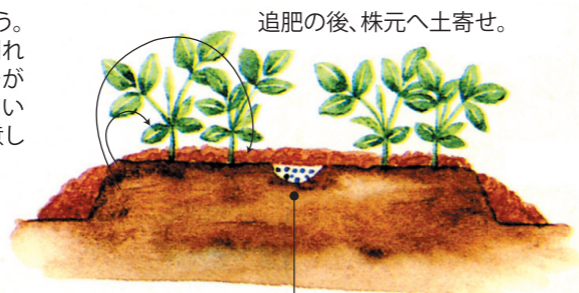
4 追肥・土寄せ

本葉1枚のころ1回目の追肥をしましょう。



「やさい2号」(N・P・K=8・8・8)
10~20g/m²

15日後に2回目を施しましょう。株元へ土寄せをして、株が倒れないようにしましょう。マルチがしてある場合は追肥はしないが、株が倒れないように注意しましょう。



2回目の追肥
「やさい2号」(N・P・K=8・8・8)
10~20g/m²

5 収穫

さやの色が鮮やかな緑になり、豆粒が太り、指でつまむと、さやから豆が飛び出るところが収穫時期です。適期は3~7日と短く、その後すぐに豆が硬くなり品質も落ちます。



土に触れる安心、
育てる喜び、
収穫する感動、
食べる幸せ。

今日から始める家庭菜園

エダマメ

果菜類・マメ科

大豆が熟す前の未熟果が「エダマメ」です。“畑の肉”といわれるほど高い栄養価が特徴。豊富なビタミン類とたんぱく質に含まれるアミノ酸メチオニンがアルコールの分解を進め、肝臓への負担を軽くしてくれるといわれています。



栽培のポイント



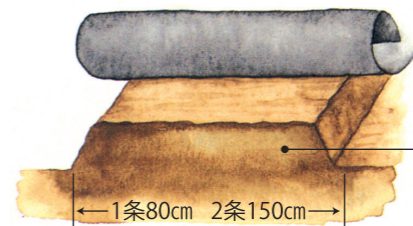
東部営農経済センター
はやまき まこと
早崎 誠

- 遅採りは、一粒一粒の豆の味が濃厚で、クリーミーなコクが味わえるとされています。
- さや着きをよくするため、密植と乾燥に注意しましょう。
- 発根促進、倒伏防止のために開花するまでに土寄せをしましょう。(マルチ以外)
- 開花から若莢期にカメムシに注意しましょう。

栽培方法

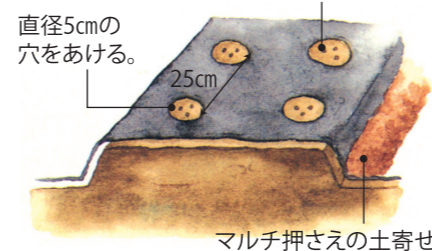
1 畑の準備

荒起こしの際、苦土消石灰と、乾燥を防ぐため、堆肥を多めに施しましょう。元肥は窒素過多にならないように気をつけましょう。マルチをすると、生育が早くなります。

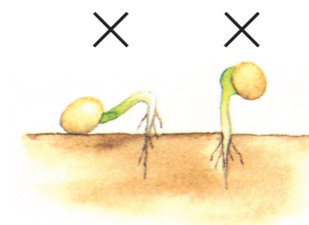


荒起こし
苦土消石灰100g/m²
堆肥3~5kg/m²
元肥
「やさい1号」50~70g/m²
(N・P・K=12・10・12)
マルチをするときは2割増しに

2 じかまき



種はハトに食べられやすいので、ネットなどをかけておくとよいでしょう。被害の多い地域では、育苗してから植えつけましょう。



覆土は2~3cm。浅いと根が浮き上がったたり、子葉が種皮をかぶったまま出てきます。

3 間引き・補植

本葉1枚ころに1カ所2株に間引きしましょう。1つしか発芽しなかったところは、間引き苗を補植しましょう。

